

令和3年度実績報告分

「福祉サービス第三者評価」を踏まえたサービス改善計画・実施状況

施設名	特別養護老人ホーム 花みずき	施設番号	K397
-----	----------------	------	------

項目	評価結果に基づく現状分析 (令和3年度)	改善計画 (令和3年度末時点)	実施状況(予定を含む) (令和4年4月30日時点)	左記実施状況に実施予定が あった場合の実施状況 (令和4年4月30日時点)
について	<p>コロナ禍の中、利用者と家族から意向等を確認する機会が減ってしまいました。職員も同様で、感染対策を優先するために会議や委員会を书面回覧による実施に切り替えています。区内の施設長会や地域との交流も中止になることが多く、事業環境を把握するための情報収集の活動が難しくなっています。致し方ない面はありますが、利用者等のニーズは何か、職員が除く働き方はどのようなことかなど、情勢をみながら情報収集に取り組んでいき、ニーズに応じた運営体制を整えていくことを期待します。</p>	<p>新型コロナウイルスに感染した職員、入所者様の感染症対策に注力しました。感染症対策を講じながらも、面会等の緩和策について検討し、ニーズに応えていきたいと思っております。</p>	<p>1 実施済み</p> <p>2 実施予定(令和4年10月ごろ)</p> <p>具体的には以下のとおりです。</p> <p>大田区施設長会は対面、ウェブの両面ですすめられており、参加を継続。ご家族、ご入所者からのニーズである面会についても、窓越し面会を実施しており、感染拡大状況等によって、緩和策をすすめていく。</p>	<p>1 実施済み (      年      月)</p> <p>具体的には以下のとおりです。</p>
について	<p>開所して2年目に現法人に運営が譲渡され、その後立て直しが進められています。当初の働き方との違いに戸惑い退職していった職員もいますが、リーダー層が徐々に定着してきています。現場の職員との意見の相違等があることは、今回の職員自己評価結果から推察できますが、まずはリーダー層が同じ目的、目標を持ち一体となっていくことが大切だと考えられます。今の取り組みを継続していき、職員の意見にも耳を傾けながら組織としてのまとまりが表れてくることを期待します。</p>	<p>開所2年目に他法人との業務提携等により、運営と経営する松風会法人人事が大きく変化されました。その後は目的意識や人員整備を進めてまいりました。リーダーはじめ人員整備を更にすすめ職員育成ができるよう努めていきます。</p>	<p>1 実施済み</p> <p>2 実施予定(令和5年3月ごろ)</p> <p>具体的には以下のとおりです。</p> <p>職員配置、リーダー配置が安定しコミュニケーションをはかり、安定していけるよう整備。</p>	<p>1 実施済み (      年      月)</p> <p>具体的には以下のとおりです。</p>
について	<p>サービスの手引書は各職種でファイルにし、活用しています。介護を担当する職員の手引書の見直しを施設長が担当して全般的に行い、完成は間近になっています。組織としての決定と情報共有が求められており、各分野の職員の業務手順の確認と見直しが必要です。判断基準と根拠を示し必要なサービス内容を職員に明示して、統一したマニュアルの整備を期待します。業務点検の手段として活用できるように手引書の総合的な整備に努めて、事業所全体のサービス提供内容を見直し、より良いより適したサービス内容の改善に繋げる取り組みを期待します。</p>	<p>感染対策等により内容に変更もあり、統一したマニュアル整備は未完成ですが、感染対策等も落ち着いてきてマニュアル整備、研修計画を見直して実施。</p>	<p>1 実施済み</p> <p>2 実施予定(令和5年3月ごろ)</p> <p>具体的には以下のとおりです。</p> <p>マニュアルの完成。研修の実施。</p>	<p>1 実施済み (      年      月)</p> <p>具体的には以下のとおりです。</p>

※この様式は、「令和3年度東京都特別養護老人ホーム経営支援補助金交付要綱」の規定に基づき、利用者の皆様にお知らせするためのものです。

※「項目」は、第三者評価における「さらなる改善が望まれる点」などを参照に、施設が独自に決めています。

※第三者評価(又は利用者に対する調査)の結果は、施設において公表しているほか、「とうきょう福祉ナビゲーション」によりインターネットでも閲覧できます。